

世界のデング熱流行状況

2011年1月31日 ProMED 情報

(1) パラグアイ(セントラル Central 県)

1月26日現在、セントラル県の Mariano Roque Alonso では、最近のデング熱の流行により患者17名が確定診断されました。

(2) パラグアイ(アルト・パラナ Alto Parana 県)

1月27日、パラグアイの保健担当者は、死亡患者2名を含む数千名の患者発生を受け、デング熱流行に対する懸念を表明しました。報告によると、患者の大部分は、首都から東へ340km離れたアルト・パラナ県で発生していますが、その他14地区で流行の疑いがあります。同国保健省は、これまでに死亡患者2名と確定患者30名および疑い患者405名を報告しました。公式統計によると、アルト・パラナ県では、2010年に、死亡患者14名と13,000名の患者が発生しています。なお、1月30日現在、アルト・パラナ県での死亡患者数は3名になりました。

(3) ペルー(アマソナス Amazonas 県)

1月27日、ペルーの保健大臣は、死亡患者10名が発生した同国の森林内でのデング熱の流行について、これまで同国では報告のないブラジル起源の新たな型のウイルスによるものであると述べました。この新しい型のウイルスは出血症状を起こすことなく、急速に症状を悪化させ、ショック症状を引き起こすとのことでした。

(本記事では、発生地域については言及していませんが、ProMEDは、本年1月の記事でイキトス Iquitos でのデングウイルス2型に起因する流行を報告しており、この記事が本件に関連していると推定されます。)

(4) ブラジル(マト・グロッソ・ド・スル Mato Grosso do sul 州)

1月29日、カンポ・グランデ Campo Grande の住民にデングウイルス4型による疑い患者が発生しました。パラ Para 州で感染した可能性があります。これまで、マト・グロッソ・ド・スル州では4型以外の型(1型、2型および3型)が流行していたため、今後4型の流行が懸念されます。

(5) オーストラリア(北部クイーンズランド North Queensland)

1月28日、クイーンズランド州最北部地域にある町のイニスフェイル Innisfail で、蚊の刺咬により当地で感染した確定患者が少なくとも1名発生したため、新たなデング熱の流行が宣言されました。一方、ケアンズ Cairns 郊外のパラマッタパーク Parramatta Park とウエストコート Westcourt ではデング熱流行の終息が宣言されました。

(6) 米領サモア

1月29日、医療センター職員によると、同国の患者数は、2010年は467名、2009年は436名、2008年は667名でした。最近、死亡患者は発生していません。